

遠隔動画クラウド録画ソリューション

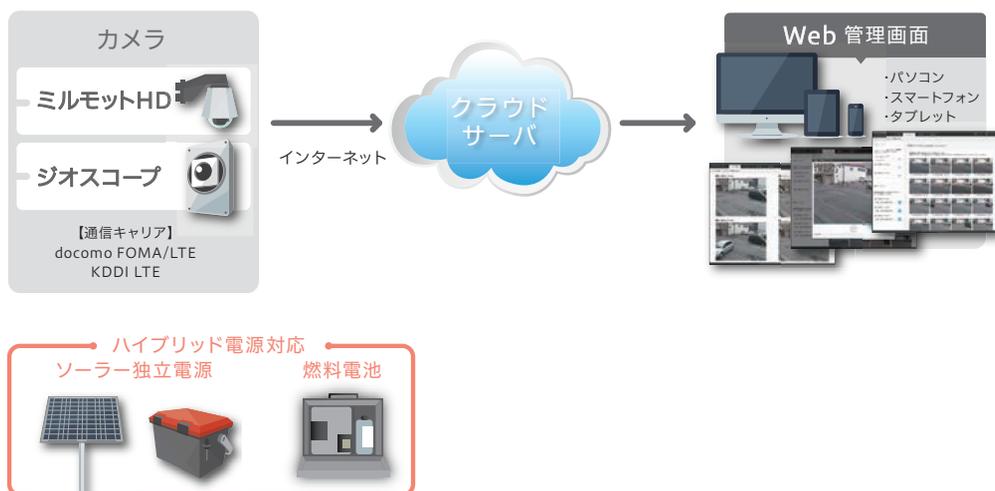
ハイブリッド電源による長期間稼働を実現したサーバ録画型ネットワークカメラ



- Point 1** パン・チルト可能な広角高画質カメラによる撮影をクラウド化
- Point 2** 燃料電池とソーラーのハイブリッド電源により、3~6ヶ月間の長期間単独稼働を実現
- Point 3** 24時間×3ヶ月の定点監視映像をクラウドサーバに保存

「遠隔動画クラウド録画ソリューション」は、燃料電池とソーラーパネルによるハイブリッド電源構成と最長2160時間（3ヶ月）にわたって動画をクラウドサーバに録画することが可能なカメラシステム（LTE/衛星通信）を組み合わせた、災害監視用システムです。頻繁なアクセスが困難である山間地や災害現場において、長期間メンテナンスを必要としないシステム構成を特徴としており、クラウドログと組み合わせることで燃料となるメタノールやバッテリーの電圧を遠隔地から把握することも可能です。北海道支笏湖周辺で起きた土石流災害の現場をはじめとして、実際の災害現場での使用実績があり、これまでに800件に上る実地運用が行われています。

システム構成



設置事例

